

病院短信

3病棟 看護師長 船津 栄

『世界はみんなの力で出来ている』

今年の5月、思いがけず病を得て数十年ぶりに入院をしました。まあ、熱と痛みはありましたが、まさか自分が入院する事になるとは…。ビツクリ仰天、晴天の霹靂。鬼の境乱。日頃より、体力付けるべく運動をして鼻息荒く「自分は病とは無関係」と自負していましたが結局、病気になる時はなるものなんですね(苦笑)。ある日突然、忙しい職業人から切斷され、白いベッドに横たわり日がな一日、ゆったりとした雲の流れと時間の中に沈み、私はまるで別の世界に取り残された感じでした。

「なんでこうなったんだろう」とか「一体、元に戻るのかな」など、悲観的な毎日でした。

そんな中、心強かったのが、担当が代わる度に自己紹介してくれた看護師さん。痛みで食べられなくても必ず良くなるからとそのままお膳を下げてくれた配膳の方。胸水が溜まり、背中からの穿刺の時、ずっと手を握っていてくれた師長さん。解熱し、体調が持ち直した時、洗髪をしてくれた介護士さん。何より、すぐにお見舞いに来てくれたセントノアの皆さん、師長不在の病棟を一生懸命守ってくれた病棟スタッフの皆さん、たくさんの励ましと力を頂きました。本当に感謝しかありません。

幸い、約2週間程度でなんとか退院となりましたが、日頃より医療サービスを提供する側から提供される側の経験をさせて頂いたことで多くの感謝に気づかせて頂きました。そうです。私が過ごしてきた世界は、患者さんを含め、周囲の人の力に支えられて出来ていたのです。今現在、自分が今ここに居るのは皆さんのお陰、その想いをお返ししたい。「我々は何のために医療を行なっているかを考えなくてはいけない。医療には受ける人が必ずいて、受ける人が何を考え何に悩んで何に苦しんでいるのか、いつもその気持ちにアプローチして何をするかを決めていく事が大事。そこを絶対に忘れてはいけない」。以前メモしていた言葉ですが、病を得てこの文言が身に滲みしました。復帰した今、これを基本に頑張っています。しかし、気をつけなければなりません。今日と同じ明日が来るとは限らない。常に「今」にベストを尽くす事。でも、絶対に無理はしない事。そこが肝心ですね。



相談室だより



医療福祉相談室

広瀬 君子

最近、観測史上初と言われるほどの大雨や大型台風などの予測の出来ないレベルの被害情報を目にします。そして、自然災害の多さと恐怖を感じます。「まさか、自分が被災するとは思っていなかった」という人が多いのが現実ですね。

よく人生100年時代と言われ、今は被災に限らず人の一生においても、何が起きるかわかりません。

認知症を発症するのも同じだと思います。ご相談をお受けしている時、「まさか、夫(妻・親)が認知症になるとは思っていなかった」。というご家族に出会います。突然、予想もしていなかったことが起きると、人はどうしていいかわからないのは、当然のことだと思います。身内のこととなると特に、頭で解っているのに、行動に移したり、決定したりするのに迷いが生じます。ご不安やご心配事などありましたら、お声をかけてください。一緒に考えることで、少しでもお役に立つことがあればと思います。



いきいき介護



3病棟 介護福祉士

渡嘉敷 直美

暑かった夏も過ぎ、めっきり秋らしくなりました。「食欲の秋」ですね。ですが認知症の方は、その食事を摂らなくなってしまうことがあります。原因は、色々あります。

1、食べ物かどうか分からない

認知症の症状のひとつである失認が原因の患者さんには、「ごはんですよ」「お肉ですよ」など、声をかける事で、それが食べ物だと認識し食べ始めてくれる事があります。

2、食べ方がわからない

手が止まって、戸惑っている様子がある失行が原因で食べ方がわからなくなっている患者さんには、食事の置き方や食器や箸、スプーンの工夫をしたり、食器の数が多いと情報の多さから混乱してしまう事があるので小鉢などに入れ小出しする事で、食べられるようになる事もあります。

3、落ち着いて食事のできる環境でない

食事の姿勢がづらい、トイレに行きたい、眠いなど。



他にもたくさんの原因がありますが、少しでも食事の時間が楽しい時間になるように、原因となる事を解決する事で気持ち良く食事をしてもらえるようにしています。

事務屋の独り言

常務理事 事務局長 瓦井 洋

『続・認知症の治療薬』

「認知機能の指標で悪化が確認された」。この7月、3月のエーザイに続いて、今度はノバルティス社が臨床試験(治験)の最終段階(第3相試験)に入っていたアルツハイマー病治療薬の治験を中止した。

高齢者の増加とともに、世界各国で急増している認知症。根本的に治す薬(根治薬)を世界中が渴望し、研究者たちや製薬会社がこぞって開発にしのぎを削っているのに、なかなか根治薬が出てこない。

こんな現状を前々回、少しお話をしましたが、今回はその続きです。

米国の研究製薬工業協会の報告書によれば、この20年間で146の薬剤候補が開発中止になってしまったそうです。そして、このうちの約4割が根治を目指したもので、そのまた2割が最終段階(第3相試験)まで進んでいたのだとか。

認知症の患者は現在、世界に約5千万人。この日本国内には約500万人いるとされています。その7割近くを占めるアルツハイマー病。この病気、脳の中に「アミロイドベータ」(Aβ)という蛋白質が蓄積し、それにより脳神経細胞が徐々に壊れていく、ことなどが主な原因と考えられています。ところが世界の研究者の中には、蛋白質は一つではなくほかにも数種類ある、という研究者もいて諸説紛々です。つまりとところ、それほど根治薬の開発は難しいという事なのです。

この国では現在、厚生省が保険薬として承認し、治療薬として使われているアリセプト・レミニール・イクセロン・パッチ・メモリーの4種がありますが、そもそもこの薬、「神経伝達物質の分解を妨げて、神経の働きを活発にさせることで症状の改善を狙う」という薬です。この中の「メモリー」は既にフランスで、費用対効果が非常に薄いとして、保険薬から外されたことはお話しした通りですが、しかし病院の現場では、どの薬も総じてあまり評判が良くありません。

もう5、6年前になりますか、英国で主要8か国(G8)の認知症サミットが行われ、各国閣僚が「2025年までに根本的な治療法を見いだす」と共同宣言まで出したこの根治薬。「アミロイドベータ」(Aβ)の蓄積を防いだから除去したりして進行を抑える」ものなのですが、未だに承認されたものはありません。それどころか、ここ4、5年はファイザーやロシュ、イーライリリーなど世界有数の巨大製薬企業が相次いで治験の中止を発表しているのです。その中止した理由の中心は「治験に参加して、薬を使った人とそうでない人とを比べたが、期待したほどの効果が見られなかった」とか「薬を使った患者の方が、認知機能の低下がみられた」とか「脳に浮腫が起きるなどの副作用があった」等々、散々だったみたいなのです。

ここまで書くと、本当に認知症の治療薬はできるのだろうか、と心配になりますよね。でも大丈夫みたいですよ。希望の光は徐々にですが、大きくなってきたようです。

米国のネバダ大の研究ですが、今年の2月の時点で、治験の最終段階に入っている根治薬の候補は17種類もあり、今後数年でその結果が報告されるだろうということです。さらにこの7月にロサンゼルスで行われた国際学会でも、第1、第2段階の候補は60種類にも及ぶ、との発表もあつたそうです。

もちろん樂觀はできませんが、希望の根治薬、1日も早く開発されることを我々も願ってやみません。但し、まがい物は困りますけどね。



誕生日会&敬老会



玉入れゲーム

チョコバナナコーナー



夏まつり



居酒屋コーナー



でみせ



職員手作りの首飾りが
贈られました！



かき氷コーナー



看護のひろば

2 病棟 看護師
望月 徹

厚生労働省の身体拘束ゼロへの手引きには、行動や可動域を制限する行為（フィジカルロック）について、具体的に記載されていますが、精神薬を過剰に服用させる事（ドラッグロック）や高圧的な言葉による行動制限（スピーチロック）については、ほとんど記されていません。

認知症の周辺症状による危険行為や転倒リスクを抑えるため、指示的な声掛けや行動制限となる発言をする事があります。この一連の行為は、身体拘束に適應されてしまう場合があります。私たち職員も、気を付けていますが、時々耳にする事もあり、自分も言ってしまう事があります。

日頃の実践ケアを振り返る機会として、スピーチロックは、個人で見直す事ができるケアであり、職員同士が意識し合えば、なくす事のできる取り組みです。認知症患者さんの無意識的な行動には、必ず理由があると言われています。どんな事が根底にあるのか、面会に来られたご家族からお話を聞く事が参考になります。また、同じ行為・行動を繰り返す場合、危険がなければ患者さんのやりたい事を実行できるように環境を整えられる事が私たちの役割であると認識しながら、日常業務をしなければなりません。

高齢化社会において、認知症治療を必要とする患者さんの増加に伴い、認知症対応の施設の医療依存重症度は、年々加速されます。そのため、職員には、今まで以上の知識や技術が求められています。

患者さんの尊厳の確保、個別性の高いケア、質の高い医療環境の確保、QOLの維持、状況に応じた判断力等、様々な課題が上がってきますが、皆で考えて実行できる職場です。安全と安心を患者さんとご家族に受け取っていただきたい。



スタッフ紹介

管理栄養士

あなくほ さやか
穴久保 沙耶香

星 座 : かに座

血 液 型 : A 型

好きな食べ物 : オムライス



涼しくなってきたので、ゴルフに行きたいと思っている管理栄養士の穴久保です。

中学から大学まで 10 年間女子校でおしとやかに育ちました。

高校3年の夏に、大好きな先生の健康診断の結果が糖尿病予備軍だと知り、先生を糖尿病にさせない為に管理栄養士になりました。今思うとなかなか健気ですネ。

もちろん現在は患者さんのために日々精進しております。

厨房も委託会社から直営になったことで、より一層、衛生面には気を付けてお食事を提供していきたいと、栄養科職員みんなで頑張っております。何かございましたらお気軽にお声がけください。



秋祭りのお知らせ

10月19日(土)
13:00~15:00
※雨天時、院内開催

祭 プログラム

- ・きよしのズンドコ節
- ・花笠音頭
- ・よさこいソーラン
- ・彩誠太鼓

祭 模擬店

100円 … 焼きそば（きざみ有）、たこ焼き
50円 … フランクフルト、ハッシュドポテト
おしるこ、綿菓子、アイスクリーム、飲み物
無 料 … スーパーボールすくい

10月の予定

◆誕生日会

14:00~各病棟デイルームにて

1病棟	11日(金)
2病棟	15日(火)
3病棟	9日(水)